

COVID-19 禍に対する海外留学研究者支援

■趣旨

新型コロナウイルスによる感染(以下 COVID-19)が世界中に拡大しており、深刻な被害が報告されている。COVID-19 禍により、海外留学者が研究継続や生活面で困難な状況に陥らないように、アステラス病態代謝研究会として支援したい。

■支援対象

COVID-19 禍に対するタイムリーな支援を行うため、支援対象者を本財団から海外留学補助を既に受領している、もしくは受領することが決定している研究者とした。

■交付退所者数および交付総額

(2020 年 7 月末現在)

海外留学中および留学予定の研究者の COVID-19 禍による影響に対する支援を 2020 年度第 1 回理事会で決議し、財団内で迅速に検討・準備を進めました。6 月に海外留学者および留学予定の研究者への現状確認を行い、7 月中旬までに調査を終え、海外留学者および留学予定者 34 名中 8 名に支援が必要と判断しました。できるだけ早期に支援するとの方針から、7 月末までに支援金をお支払いしております。結果、総額 280 万円の支援を行いました。

■支援対象者

支援対象者	留学先	支援金額
笠原 和之	ウイスコンシン大学	100,000
宍倉 匡祐	ペンシルベニア大学	1,000,000
白石 一茂	ペンシルベニア大学	280,000
高橋 洋平	カリフォルニア大学	200,000
高屋 潤一郎	スクリプス研究所	100,000
丸目 恭平	インスブルック大学	500,000
山下 尚志	ボストン大学	200,000
山村 裕理子	グラスゴー大学	420,000